

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2013-1-254
研究課題名 各種陥入爪治療法の有効性比較
研究期間 西暦 2013年 10月（倫理委員会承認後）～2015年 3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（外来、病棟における診療録および臨床写真）
上記材料の採取期間 西暦 2010年 1月～2012年 12月
意義、目的 東北大学病院皮膚科では、2010以降、陥入爪患者に対して、テーピング療法、ガター法、マチワイヤー、VHO法など様々な治療を行っている。これまでに、国内外から個々の治療法の有効性に関する報告は多数存在するが、陥入爪の臨床症状、重症度を元にした各治療法の選択基準に関する検討は行われていない。そこで、本研究においては、当科における陥入爪治療例のカルテを参照し、治療法ごとの治療経過を比較検討する。この解析を通して、陥入爪治療における臨床症状、重症度別の治療方法選択基準を明らかにする。
方法 東北大学病院皮膚科にて、2010年1月から2012年12月までに、陥入爪に対して、テーピング療法、ガター法、マチワイヤー、VHO法などの治療を行った全症例の外来、病棟カルテを参照し、陥入爪の病型、重症度別に各種治療法を行った後の、疼痛消失、爪変形の治癒までの期間を調べ、治療法間での差異を明らかにする。本研究ならびに研究成果報告に関連して患者個人が特定されるデータは一切公表されない。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院皮膚科准教授 山崎研志 980-8574 仙台市星陵町1-1 東北大学病院皮膚科 電話：022-717-7271